

国際会議参加報告（クリタ賞国際会議発表助成受賞者）

平成 28 年度から始まった年会優秀発表賞受賞者国際会議発表助成（クリタ賞国際会議発表助成）を受け、金澤推氏（金沢大学）が IWA 世界水会議（IWA World Water Congress & Exhibition 2016 (Brisbane)）に、藤谷拓嗣氏（早稲田大学）が IWA スペシャリストグループ会議（MEWE and Biofilms IWA Specialist Conference in Copenhagen）に参加され研究発表を行いましたので、会議の報告を書かせていただきました。

参加報告：IWA World Water Congress & Exhibition

金沢大学 金澤 推

IWA World Water Congress & Exhibition 2016 が、2016 年 10 月 9 日から 14 日まで、オーストラリアのクイーンズランド州ブリスベンの Brisbane Convention & Exhibition Centre にて開催されました。10 月のブリスベンはちょうど春だったので暖かく、天候にも恵まれ比較的過ごしやすい毎日でした。本会議は 2 年に一度行われており、IWA が開催する水環境関連分野では世界最大の国際会議です。今回は、100 を超える国々から 5000 人以上の参加者が集まり、「水未来の形成」をテーマに 4 日間で 6 つのリーダーシップフォーラム、8 つのプレナリーセッション、38 のワークショップ、86 のテクニカルセッション、344 のプレゼンテーション、500 以上のポスター発表が行われました。その中で、とくに、将来の水を中心とした都市をどのように提供するか、資源とエネルギーの回収、人の健康と安全な水質、飲料水および排水処理の技術、そしてガバナンスと持続可能な財政に関して、最先端の研究および取り組み事例が紹介され、世界的な水問題に対して熱心な討論が行われました。期間中は、開会式や閉会式だけではなく毎朝基調講演を聞く機会があり、The Blue Economy の著者であるゲンター・パウル氏をはじめ、オーストラリア・ビクトリア州前副首相のジョン・スウェーツ氏など、様々な方のお話を伺うことができました。とくに、アジア開発銀行の Xianbin Yao 氏の急速な都市環境における水の安全管理に関する講演は、非常に興味深い講演でした。

私が参加した嫌気処理のセッションは 3 日目の最後のセッションに行われました。発表した研究は、2014 年 3 月の日本水環境学会年会において、発表した内容に、実験を補足して、まとめたものです。下水汚泥の嫌気性消化において、投入基質の一つである終沈汚泥は微生物細胞が主な成分であるため、分解性が悪いことが知られて

います。一方、リン資源は世界的に枯渇状況にあり、下水道中に存在するリンを効率的に資源化することが求められています。本研究では、下水汚泥の分解性の向上とリンの放出抑制を目的に、終沈汚泥に硫酸カルシウムを添加して硫酸塩還元条件で前処理を行うプロセスを提案し、基礎的な検討を行いました。幸運なことに、口頭発表に選ばれ、さらに発表会場の中でも一番広い Great Hall にて発表する機会をいただきました。同セッションでは、他にもブラジルや中国の博士学生の発表もあり、最先端研究を切り開く同年代の研究者の姿は非常に刺激的でした。さらに、セッションの終了後には、他国の学生や研究者とより発展的な議論をする機会に恵まれ、国を超えて密な研究交流をするという、国際会議の意義を実感できたひとときでした。その中で、自分が今まで気づかなかった新たな視点や、少し説明不足だった点を知ることができ、より自分の研究を発展させるきっかけを得るとともに、自らの研究を世界に直接発信できる国際学会の意味を、実感することができました。この熱意は、2 年後の東京開催（IWA World Water Congress & Exhibition 2018）に引き継ぎたいと考えています。

池本良子教授と本多了助教には約 1 年間にわたり懇切丁寧なご指導をいただき、本当にありがとうございました。今回幸運にも池本先生の研究発表を拝見することができ、私もまさに今後の活躍を期待される女性研究者の一人として、今後も研究に邁進していきたいと考えています。最後に、IWA World Water Congress & Exhibition 2016 への参加にあたり、日本水環境学会より年会優秀発表賞受賞者国際学会発表助成（クリタ賞国際会議発表助成）をいただきましたことを、心より厚く感謝申し上げます。



写真 1 Exhibition 会場の前（筆者右から 2 番目）



写真 2 発表の様子